



## 平成29年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月3日

上場会社名 グリー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3632 URL http://corp.gree.net/jp/ja/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 良和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 秋山 仁 TEL 03-5770-9500  
 定時株主総会開催予定日 平成29年9月26日 配当支払開始予定日 平成29年9月27日  
 有価証券報告書提出予定日 平成29年9月27日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年6月期の連結業績（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期	65,369	△6.5	7,997	△43.8	10,035	△4.7	12,116	44.2
28年6月期	69,878	△24.4	14,239	△29.6	10,534	△57.9	8,402	—

(注) 包括利益 29年6月期 8,809百万円 (△10.0%) 28年6月期 9,783百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年6月期	51.61	51.44	11.4	8.5	12.2
28年6月期	35.92	35.73	8.5	9.2	20.4

(参考) 持分法投資損益 29年6月期 一百万円 28年6月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期	122,954	109,883	89.2	466.41
28年6月期	112,370	102,604	91.2	436.89

(参考) 自己資本 29年6月期 109,658百万円 28年6月期 102,431百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年6月期	11,652	△8,125	△1,837	82,382
28年6月期	7,476	△1,626	△3,837	80,190

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00	1,875	22.3	1.9
29年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00	2,586	21.3	2.4
30年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 配当金総額には、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式への配当金（平成28年6月期8百万円、平成29年6月期9百万円）を含めておりません。

2. 平成30年6月期の配当金につきましては、現在未定です。

### 3. 平成30年6月期第1四半期（累計）の連結業績予想（平成29年7月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第1四半期(累計)	20,500	37.5	1,500	△41.1	1,500	△41.7	1,000	△90.8	4.25

(注) 平成30年6月期の連結業績予想については、現時点で第2四半期(累計)及び通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第1四半期(累計)の業績予想のみを開示しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 2社（社名）Fantasy Legend Studios, Inc. (旧PerBlue, Inc.)、株式会社3ミニッツ

除外 2社（社名）GREE International, Inc.、セカイエ株式会社

(注) Fantasy Legend Studios, Inc. (旧PerBlue, Inc.) は、取得時点では特定子会社に該当しておりましたが、当連結会計年度末においては、特定子会社ではなくなっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期	241,889,800株	28年6月期	241,463,300株
② 期末自己株式数	29年6月期	6,776,857株	28年6月期	7,008,298株
③ 期中平均株式数	29年6月期	234,773,324株	28年6月期	233,936,385株

(注) 自己株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式（29年6月期：850,679株、28年6月期：1,082,120株）を含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成29年6月期の個別業績（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期	57,415	7.7	16,414	△18.9	7,706	△50.0	10,414	△7.0
28年6月期	53,326	△23.5	20,231	△20.5	15,421	△50.8	11,202	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期	44.36	44.22
28年6月期	47.89	47.64

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期	122,019	112,430	92.0	477.24
28年6月期	111,380	104,062	93.3	443.11

(参考) 自己資本 29年6月期 112,205百万円 28年6月期 103,890百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

我が国のインターネット利用環境については、平成28年9月末時点でインターネット利用者（個人）が、1億84万人となり、インターネット利用者の割合は83.5%と普及が進んでおります。また、モバイル端末の保有状況（個人）において、個人のスマートフォン保有率は前年比3.7ポイント増の56.8%となりました。（総務省「平成28年通信利用動向調査の結果」）当社グループは業績回復を図るべく、スマートフォン向けゲームアプリ（以下、「ネイティブゲーム」）の開発に注力し、当連結会計年度において国内向けに8本の新規タイトルをリリース致しました。その大半がApp Store及びGoogle Playのトップセールスランキングにおいて上位に入る貢献をし、ネイティブゲームのコイン消費は前年同期比で増加致しました。一方、利益率の高いウェブゲームのコイン消費は前年同期比で減少致しました。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高65,369百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益7,997百万円（同43.8%減）となりました。経常利益は為替相場が円安に推移したことによる為替差益の計上等により10,035百万円（同4.7%減）となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては、Fantasy Legend Studios, Inc.に係るのれん、無形固定資産の減損損失を計上し、海外事業の戦略転換に伴って見込まれる損失を引当計上した一方、投資有価証券売却益の計上に加え、子会社株式の譲渡に伴い過去に計上した関係会社株式評価損や貸倒引当金繰入額が税務上認容される見込みとなり、法人税等が減少したことにより12,116百万円（同44.2%増）となっております。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は122,954百万円（前連結会計年度末比10,584百万円増）となりました。

流動資産は96,455百万円（前連結会計年度末比1,769百万円増）となりました。主な増加要因は、「売掛金」が1,684百万円増加したことによるものであります。

固定資産は26,499百万円（前連結会計年度末比8,814百万円増）となりました。主な増加要因は、「のれん」及び「繰延税金資産」がそれぞれ3,632百万円、3,568百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は13,071百万円（前連結会計年度末比3,305百万円増）となりました。

流動負債は12,494百万円（前連結会計年度末比3,099百万円増）となりました。主な増加要因は、「未払法人税等」及び「事業再編損失引当金」がそれぞれ1,436百万円、1,701百万円増加したことによるものであります。

固定負債は576百万円（前連結会計年度末比205百万円増）となりました。主な増加要因としては「その他」が230百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は109,883百万円（前連結会計年度末比7,279百万円増）となりました。主な増加要因は、「利益剰余金」が10,169百万円増加したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当連結会計年度末は89.2%であります。また、支払い能力を示す流動比率は当連結会計年度末は772.0%となっております。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ2,192百万円増加し、当連結会計年度末の残高は82,382百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、11,652百万円（前年同期比55.8%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益8,213百万円、減損損失4,107百万円があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、8,125百万円（前年同期比399.7%増）となりました。これは主に連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出7,192百万円、投資有価証券の取得による支出3,585百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1,837百万円(前年同期比52.1%減)となりました。これは主に配当金の支払額1,874百万円があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成28年6月期	平成29年6月期
自己資本比率 (%)	91.2	89.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	120.6	187.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.1	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,453	13,295

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループは、引き続きモバイル向けのコンテンツやサービスの拡充を行うと共に国内外のユーザーの利用拡大及び収益基盤の確立・強化に取り組んで参ります。

ネイティブゲームは更に事業拡大を果たすべく、既存タイトルの強化を図りつつ、外部IPを用いたタイトルの展開や外部パートナーとの協業など、引き続き新規タイトルのリリースを進めて参ります。またウェブゲームは、高い利益率を維持しながら継続的な利益創出ができるように取り組んで参ります。

ネイティブゲームの海外展開は、これまで国内開発及び海外開発モデルの両方の展開を行って参りましたが、平成29年7月7日、戦略転換を発表しました。今後は国内開発モデルに注力し、日本国内で実績のあるタイトルの海外展開を拡大することで、引き続き海外事業の成長に積極的に取り組んで参ります。

また、新たな事業の柱構築に向け、動画を軸とした広告・メディアの事業規模の拡大に取り組んで参ります。

なお、連結業績見通しにつきましては、インターネットを取り巻く環境の変化が激しく、当社グループの業績も短期的に大きく変動する可能性があること等から、信頼性の高い通期及び半期の業績予想数値を算出することが困難なため、第1四半期の業績見通しを公表させていただきます。

以上により、第1四半期は売上高20,500百万円、営業利益1,500百万円、経常利益1,500百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,000百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識しており、事業の効率化及び拡大に必要な内部留保の充実を勘案しながら、その時々当社グループの経営成績及び財政状態並びにそれらの見通しに応じた適切な利益還元策を実施することを基本方針としております。

配当につきましては、業績連動型の配当を実施することを基本方針としており、毎期の業績等を勘案しながら、連結配当性向20%を目処に実施して参ります。

当期につきましては、業績等を勘案し1株につき11円の普通配当を実施することを予定しており、連結配当性向は21.3%を予定しております。来期以降につきましては、現時点では未定であります。上記の基本方針に従い、株主に対する適切な利益還元策を都度検討して参ります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、国際会計基準の適用について適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当連結会計年度 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	80,190	82,382
売掛金	5,387	7,071
繰延税金資産	1,658	3,163
未収入金	2,527	1,962
その他	5,291	1,907
貸倒引当金	△369	△32
流動資産合計	94,685	96,455
固定資産		
有形固定資産		
建物	866	876
工具、器具及び備品	172	253
有形固定資産合計	1,039	1,130
無形固定資産		
のれん	287	3,920
その他	692	576
無形固定資産合計	980	4,496
投資その他の資産		
投資有価証券	12,564	13,871
繰延税金資産	363	3,931
その他	3,115	3,293
貸倒引当金	△377	△224
投資その他の資産合計	15,665	20,872
固定資産合計	17,685	26,499
資産合計	112,370	122,954
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	5	1,442
賞与引当金	591	840
未払金	7,212	6,328
事業再編損失引当金	—	1,701
その他	1,585	2,181
流動負債合計	9,394	12,494
固定負債		
長期借入金	25	—
その他	346	576
固定負債合計	371	576
負債合計	9,766	13,071

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当連結会計年度 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,306	2,334
資本剰余金	2,304	2,332
利益剰余金	101,363	111,533
自己株式	△6,535	△6,229
株主資本合計	99,438	109,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	784	262
為替換算調整勘定	2,209	△576
その他の包括利益累計額合計	2,993	△313
新株予約権	172	224
純資産合計	102,604	109,883
負債純資産合計	112,370	122,954



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	69,878	65,369
売上原価	18,754	21,938
売上総利益	51,124	43,431
販売費及び一般管理費	36,885	35,433
営業利益	14,239	7,997
営業外収益		
受取利息	38	17
受取配当金	16	253
為替差益	—	1,135
投資事業組合運用益	1,205	58
貸倒引当金戻入額	—	300
その他	104	279
営業外収益合計	1,365	2,044
営業外費用		
支払利息	4	0
為替差損	4,254	—
貸倒引当金繰入額	584	—
支払手数料	12	1
その他	214	4
営業外費用合計	5,069	7
経常利益	10,534	10,035
特別利益		
投資有価証券売却益	1,103	2,070
関係会社株式売却益	259	626
受取補償金	218	—
為替換算調整勘定取崩益	—	2,028
その他	132	203
特別利益合計	1,713	4,928
特別損失		
固定資産除却損	170	23
減損損失	1,135	4,107
投資有価証券評価損	2,008	196
関係会社整理損	141	—
事業再編損失引当金繰入額	—	1,688
その他	9	734
特別損失合計	3,465	6,750
税金等調整前当期純利益	8,783	8,213
法人税、住民税及び事業税	△521	1,561
法人税等調整額	902	△5,464
法人税等合計	381	△3,902
当期純利益	8,402	12,116
親会社株主に帰属する当期純利益	8,402	12,116

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
当期純利益	8,402	12,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,022	△521
繰延ヘッジ損益	18	—
為替換算調整勘定	2,384	△2,785
その他の包括利益合計	1,380	△3,307
包括利益	9,783	8,809
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,783	8,809
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成27年7月1日至平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,275	2,273	95,499	△6,770	93,277
当期変動額					
新株の発行	30	30			61
剰余金の配当			△2,335		△2,335
親会社株主に帰属する当期純利益			8,402		8,402
自己株式の処分		△114		234	120
自己株式処分差損の振替		114	△114		—
連結範囲の変動			△69		△69
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う増減			△18		△18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	30	30	5,864	234	6,160
当期末残高	2,306	2,304	101,363	△6,535	99,438

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,806	△18	△175	1,612	126	95,016
当期変動額						
新株の発行						61
剰余金の配当						△2,335
親会社株主に帰属する当期純利益						8,402
自己株式の処分						120
自己株式処分差損の振替						—
連結範囲の変動						△69
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う増減						△18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,022	18	2,384	1,380	46	1,427
当期変動額合計	△1,022	18	2,384	1,380	46	7,587
当期末残高	784	—	2,209	2,993	172	102,604

当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,306	2,304	101,363	△6,535	99,438
当期変動額					
新株の発行	28	28			57
剰余金の配当			△1,875		△1,875
親会社株主に帰属する当期純利益			12,116		12,116
自己株式の処分		△66		306	240
自己株式処分差損の振替		66	△66		—
連結範囲の変動			△4		△4
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	28	28	10,169	306	10,533
当期末残高	2,334	2,332	111,533	△6,229	109,972

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	784	—	2,209	2,993	172	102,604
当期変動額						
新株の発行						57
剰余金の配当						△1,875
親会社株主に帰属する当期純利益						12,116
自己株式の処分						240
自己株式処分差損の振替						—
連結範囲の変動						△4
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う増減						—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△521	—	△2,785	△3,307	52	△3,254
当期変動額合計	△521	—	△2,785	△3,307	52	7,279
当期末残高	262	—	△576	△313	224	109,883

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	8,783	8,213
減価償却費	902	1,258
減損損失	1,135	4,107
のれん償却額	809	822
受取利息及び受取配当金	△54	△271
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1,205	△58
支払利息	4	0
為替差損益 (△は益)	4,335	△413
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,103	△2,070
関係会社株式売却損益 (△は益)	△259	△626
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,008	196
為替換算調整勘定取崩益	—	△2,028
売上債権の増減額 (△は増加)	2,846	△1,437
未収入金の増減額 (△は増加)	2,141	896
未払金の増減額 (△は減少)	△1,662	△1,294
前受金の増減額 (△は減少)	△72	905
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	538	△508
事業再編損失引当金の増減額 (△は減少)	—	1,688
その他	△1,460	△1,035
小計	17,687	8,345
利息及び配当金の受取額	39	262
利息の支払額	△5	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△10,245	3,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,476	11,652
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	600	—
有形固定資産の取得による支出	△125	△123
無形固定資産の取得による支出	△53	△397
長期前払費用の取得による支出	△448	△599
投資有価証券の取得による支出	△2,176	△3,585
投資有価証券の売却による収入	1,453	2,338
投資事業組合からの分配による収入	1,553	743
敷金の差入による支出	△2,072	△223
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△672	△7,192
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	419	583
その他	△104	330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,626	△8,125
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,638	△25
自己株式の売却による収入	103	60
配当金の支払額	△2,333	△1,874
その他	30	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,837	△1,837
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,025	488
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	988	2,177
現金及び現金同等物の期首残高	79,060	80,190
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72	14
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	69	—
現金及び現金同等物の期末残高	80,190	82,382

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度中に連結納税制度の承認申請を行い、翌連結会計年度から連結納税制度が適用されることとなったため、当連結会計年度から「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い(その1)」(企業会計基準委員会 実務対応報告第5号 平成27年1月16日)及び「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い(その2)」(企業会計基準委員会 実務対応報告第7号 平成27年1月16日)に基づき、連結納税制度の適用を前提とした会計処理を行っております。

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)及び当連結会計年度(自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)

当社グループは、インターネットメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)		当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
1株当たり純資産額	436円89銭	1株当たり純資産額	466円41銭
1株当たり当期純利益金額	35円92銭	1株当たり当期純利益金額	51円61銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	35円73銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	51円44銭

1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	8,402	12,116
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	8,402	12,116
期中平均株式数(千株)	233,936	234,773
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	1,203	744
(うち新株予約権)	(1,203)	(744)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含まれな かった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。